

2026年6月15日

各 位

会社名 日邦産業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 岩佐 恭知  
 (コード 9913 東証 スタンダード/名証 メイン)  
 問合せ先 執行役員 コーポレート本部長 西富 干城  
 (TEL. 0 5 2 - 2 1 8 - 3 1 6 1)

(訂正・数値データ訂正)

「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社が2026年5月18日に開示いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部誤りがありましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の開示後、連結キャッシュ・フロー計算書及び当期の財政状態の概況の記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、下記のとおり訂正するものであります。

2. 訂正箇所

訂正箇所は下線を付して表示しております。

サマリー情報

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	308	<u>△1,091</u>	<u>1,127</u>	6,718
2025年3月期	2,768	△1,675	△1,073	6,220

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	<u>745</u>	<u>△1,495</u>	<u>1,094</u>	6,718
2025年3月期	2,768	△1,675	△1,073	6,220

添付資料4ページ

1. 経営成績等の概況

(2) 当期の財政状態の概況

【訂正前】

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 3,598 百万円増加し 22,357 百万円となりました。これは受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が 3,226 百万円、現金及び預金が 497 百万円増加したことなどが主な要因となっております。

【訂正後】

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 3,598 百万円増加し 22,357 百万円となりました。これは受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が 3,218 百万円、現金及び預金が 497 百万円増加したことなどが主な要因となっております。

添付資料5ページ

2. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて 486 百万円の増加となり 6,718 百万円となりました。

当連結会計年度における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動により増加した資金は、308 百万円(前期は 2,768 百万円の増加)となりました。

これは売上債権の増加により 3,060 百万円減少したものの、税金等調整前当期純利益により 2,011 百万円、減価償却費により 1,611 百万円増加したことなどが主な要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により減少した資金は、1,091 百万円(前期は 1,675 百万円の減少)となりました。

これは有形固定資産の取得による支出により 1,097 百万円減少したことなどが主な要因となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により増加した資金は、1,127 百万円(前期は 1,073 百万円の減少)となりました。

これは配当金の支払額により 690 百万円、長期借入金の返済による支出により 354 百万円、割賦債務の返済による支出により 168 百万円減少したものの、短期借入金の純増により 2,500 百万円増加したことなどが主な要因となっております。

【訂正後】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて 497 百万円の増加となり 6,718 百万円となりました。

当連結会計年度における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動により増加した資金は、745 百万円(前期は 2,768 百万円の増加)となりました。

これは売上債権の増加により 3,060 百万円減少したものの、税金等調整前当期純利益により 2,011 百万円、減価償却費により 1,611 百万円増加したことなどが主な要因となっています。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により減少した資金は、1,495 百万円(前期は 1,675 百万円の減少)となりました。

これは有形固定資産の取得による支出により 1,472 百万円減少したことなどが主な要因となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により増加した資金は、1,094 百万円(前期は 1,073 百万円の減少)となりました。

これは配当金の支払額により 690 百万円、長期借入金の返済による支出により 354 百万円、割賦債務の返済による支出により 201 百万円減少したものの、短期借入金の純増により 2,500 百万円増加したことなどが主な要因となっております。

添付資料 14 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,558	2,011
減価償却費	1,540	1,611
減損損失	444	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	73	85
受取利息及び受取配当金	△84	△101
支払利息	55	68
支払手数料	6	20
為替差損益 (△は益)	△3	-
固定資産処分損益 (△は益)	△7	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	△206	△3,060
棚卸資産の増減額 (△は増加)	129	243
仕入債務の増減額 (△は減少)	△534	△233
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	247
未払消費税等の増減額 (△は減少)	-	148
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	170	27
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△79	△447
その他	54	247
小計	3,117	880
利息及び配当金の受取額	88	101
利息の支払額	△37	△78
法人税等の支払額	△399	△595
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,768	308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△100
定期預金の払戻による収入	-	156
有形固定資産の取得による支出	△1,622	△1,097
有形固定資産の売却による収入	31	19
無形固定資産の取得による支出	△115	△23
無形固定資産の売却による収入	20	12
投資有価証券の売却による収入	0	0
投資有価証券の有償減資による収入	52	-
その他の支出	△152	△81
その他の収入	111	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,675	△1,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	2,500
長期借入れによる収入	600	-
長期借入金の返済による支出	△378	△354
セール・アンド・割賦バックによる収入	4	-
リース債務の返済による支出	△143	△167
割賦債務の返済による支出	△208	△168
自己株式の売却による収入	32	29
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△672	△690
その他	△6	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	1,127
現金及び現金同等物に係る換算差額	526	153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	547	497
現金及び現金同等物の期首残高	5,673	6,220
現金及び現金同等物の期末残高	6,220	6,718

## 【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,558	2,011
減価償却費	1,540	1,611
減損損失	444	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	73	85
受取利息及び受取配当金	△84	△101
支払利息	55	68
支払手数料	6	20
為替差損益 (△は益)	△3	-
固定資産処分損益 (△は益)	△7	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	△206	△3,060
棚卸資産の増減額 (△は増加)	129	243
仕入債務の増減額 (△は減少)	△534	△233
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	247
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	170	27
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△79	138
その他	54	247
小計	3,117	1,317
利息及び配当金の受取額	88	101
利息の支払額	△37	△78
法人税等の支払額	△399	△595
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,768	745
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△100
定期預金の払戻による収入	-	156
有形固定資産の取得による支出	△1,622	△1,472
有形固定資産の売却による収入	31	19
無形固定資産の取得による支出	△115	△52
無形固定資産の売却による収入	20	12
投資有価証券の売却による収入	0	0
投資有価証券の有償減資による収入	52	-
その他の支出	△152	△81
その他の収入	111	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,675	△1,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	2,500
長期借入れによる収入	600	-
長期借入金の返済による支出	△378	△354
セール・アンド・割賦バックによる収入	4	-
リース債務の返済による支出	△143	△167
割賦債務の返済による支出	△208	△201
自己株式の売却による収入	32	29
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△672	△690
その他	△6	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	1,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	526	153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	547	497
現金及び現金同等物の期首残高	5,673	6,220
現金及び現金同等物の期末残高	6,220	6,718

以上